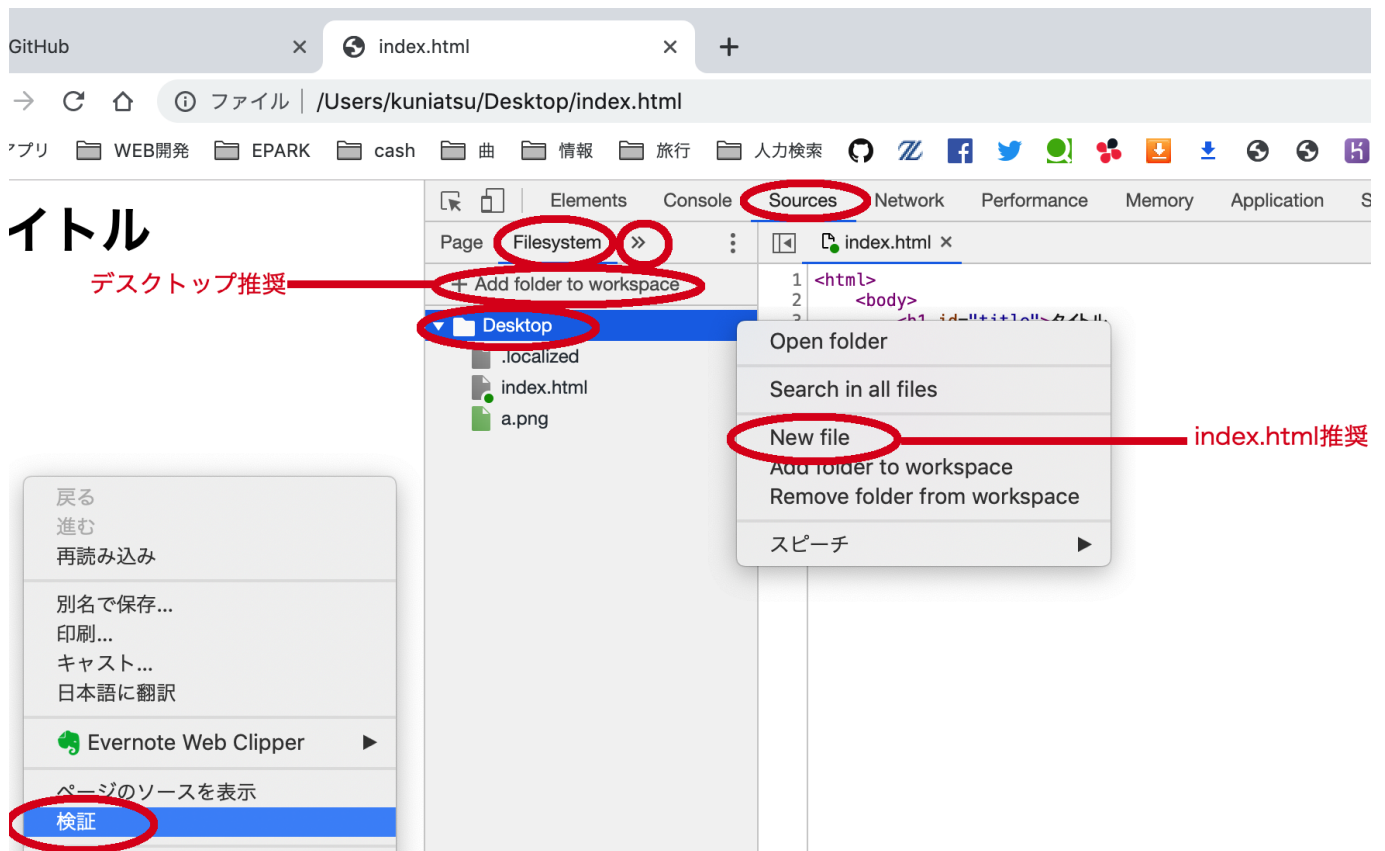


準備

エディタの準備とファイルの作成



コーディングの準備

```
<html>
<body>
TEST
</body>
<script>
  alert("OK");
  console.dir("log");
</script>
</html>
```

復習

変数・if・whileの復習

【問題】 ループと分岐を使って下記のlogをコンソールに出しましょう

コンソールに出力するlog

```
1
2
3
-
4
5
6
-
7
8
9
```

ヒント!!

JavaScriptはhtmlファイルのscriptタグ内に書く。

ループ(while)は1回、分岐(if)は2回使おう。

まずループで1~9を表示させて、その後ifで「-」が出るようにしよう。

関数作成

【問題】 引数に入れた数字に5を足した数をコンソールに出力する関数gotasuを作成

ヒント!!

gotasu(5); を実行するとコンソールに10が出力される。

HTMLの一部を取得

【問題】 画面にボタンとテキストボックスを作りボタンに書かれている文字とテキストボックス内に書かれている文字を取得しよう

追加するタグ

```
<input id="tb" type="text" value="textBox">
<button id="bt">BUTTON</button>
```

コンソールに出力するlog

```
textBox
BUTTON
```

ヒント!!

画面側の全ての情報はdocumentに入っている。

クリックイベント

【問題】 ボタンを押したら、テキストボックスに書かれた文字がコンソールに出力されるようにしよう。

ヒント!!

画面側の全ての情報はdocumentに入っている。

クリックイベントはaddEventListener関数で追加できる。

addEventListener関数の第1引数は"click"第2引数はクリックしたら走らせたい関数の名前。

先頭文字の切り抜き

文字列.slice(0,1)

数は0から始まる！

【問題】下のプログラムに1行たして、変数内の先頭の1文字だけコンソールに出力しましょう。

```
var str = "aiueo";
```

早く終わってしまった人は、1.先頭から2文字取得 と2.先頭から2番目の文字のみ取得 のやり方を探してみよう。

後ろから文字の切り抜き

文字列.slice(-1) 後ろから指定する場合はマイナスを使う。

【問題】下のプログラムに1行たして、変数内の最後の1文字だけコンソールに出力しましょう。

```
var str = "aiueo";
```

早く終わってしまった人は、1.最後から2文字取得 と 2.最後から2番目の文字のみ取得 のやり方を探してみよう。

配列

配列に値を保存1

```
var v = "masao";  
var v = "hideo";  
var a = ["masao","hideo"];  
console.dir(v);  
console.dir(a);
```

配列に値を保存2

```
var a = []; //中身のない配列を作成
a[0] = "masao";
a[1] = "hideo";
console.dir(a[0]);
console.dir(a[1]);
console.dir(a);
```

配列の中を編集

```
var a = [];
a[0] = "masao";
a[1] = "hideo";
a[1] = "hideki";
console.dir(a);
```

【問題】 配列内の値をループ1つずつ出力する

```
var array = ["masao","hideo","hideki"];
```

【問題】 配列にループで0~9値を代入し、ループで配列内の9~1を出力する

【問題】 ループで2つの配列を1つの配列にする。

文字列を分割して配列にする

文字列"aka|ki|ao"を3つに分けて、それぞれ配列の要素に代入する

```
var iro = "aka|ki|ao";
var array = iro.split('|');
console.dir(array);
```

【問題】 文字列"a,b,c,d,e"をアルファベット1つずつ配列に代入する。

【問題】 文字列"a,b|c,d|e,f|g,h|i,j"をアルファベット1つずつ配列に代入する。